

名古屋市東区で知人と始めた会社は意見の違いから二年ほどで辞めました。その直後の一九九七年六月、岐阜県土岐市の自宅二階で一台のパソコン、電話機、姉の勉強机だけで新たに個人事業を立ち上げました。

いろいろなご縁もあって、最初からいくつかの仕事を請け負うことができましたが、子供時代に夏休みの宿題もギリギリまでやらない、もしくはやらなかった僕にとって自宅での仕事は、自分との闘いでした。

朝は寝たいだけ寝て、起きたらテレビを見始め、夕方のニュースまで仕事もやらず、ただただ時間が過ぎていく毎日。野性の勘で「これ以上はまづいぞ」と思い立った日から必

## 創業当時のお話

はやし 高生  
林

死に仕事をし始め、何とか納期に間に合わせたものでした。現在、在宅勤務で毎日真面目に働く当社の社員たちにこの事は内緒にしています。

話は変わりますが、当時、昼時にクライアントと電話で打ち合わせをしていると、母親が一階から大きな声で「お昼ご飯できたよー」と僕を呼んできます。電話中なので無視をしていると、「ご飯できたよー」と僕が返事をするまで呼び続けます。クライアントから電話越しに「ご飯できたみたいですよ（笑）」と言われたとき、やり手プログラマーを気取っていた僕は本当に恥ずかしかったことを覚えています。

この後も、電話中を狙ったかのようになり「ご飯できたよー」が続いたため、早急にオフィスを借りる決意をしました。

(エイチーム社長)